

「政治家になるまでに積んだほうがいい経験、あるいは職業などはあるでしょうか？」

令和2年2月19日

● 20才の大学生さんからの質問

私は20才の大学生です。大学のために上京してますが、将来、議員になって自分の故郷のために働きたいと考えています。年齢的に一番早く立候補できるのが28になったときの統一地方選挙ですが、議員になるまでに積んだほうがいい経験、あるいは職業などはあるでしょうか。卒業後そのまま知り合いの議員の秘書になる。あるいは民間から議員になる。または、政治塾から議員になる等です。よろしくお願いします。

● 西田昌司の答え

将来、政治家になりたいとおっしゃる方に対しては、私はいつも「やめなさい」と忠告しています。政治家などにならなくても、普通に人生を送った方が余程しあわせであります。しかし、どうしてもとおっしゃるのであれば、多少の助言をいたしましょう。

私の同僚の議員は、高校卒業後、(大学受験に受かったのにもかかわらず)大学に進学せずに、有名な国会議員の書生になりました。10年間の書生生活の後、28歳の時に地元の県議会議員選挙に当選して、今は国会議員をやっていますが、このような強者もいます。国会議員の先生の家で寝起きをして政治の世界にどっぷりと浸かっていたという大変な根性の持主ですが、普通の人には真似できません。

政治家を目指すのであれば、まずは公務員になって役所に勤めるのが良いと思います。行政の現場を体験した後、政治家になるよりもそのまま公務員

を続ける方が世間の役に立てると思えるのであればそのまま続けられれば良いですし、それでも政治家になりたいと思うのであれば目指せばよろしいでしょう。

世間での経験も積まずに若い時分から政治家になるのはあまり良くないと思います。私の場合、31歳で府会議員になりましたが、それ以前は税理士として働いていました。府会議員を務めていた親父が急遽、国会議員選挙に出馬することになり、親父の空けた穴を埋めるために私は仕方なく立候補することとなったのですが、私は政治家になるつもりは全くありませんでした。税理士という仕事を一生の生業として、政治の世界には足を踏み入れずに普通に生活したかった私ですが、たまたまなってしまったのです。

30代前半で府会議員になり、府会議員を五期務めた後、48歳で国会議員になりました。府会議員を長く務めました。地方から国政を眺めながらいろいろと経験を積めたのは良い勉強となりました。府会議員の中には「とにかく国会議員となって大臣になりたい」という上昇志向の強い人もいましたが、私が国会議員を目指したのは「戦後レジームからの脱却」が動機でした。

(経済政策や安全保障を含めた)全ての政策が、GHQの占領政策の延長線上にありますし、「自分の国は自分で守る」という当たり前のことができている状況です。日本人の精神の奥底に負け犬根性が染みついていますし、このことに気付かせて独立の精神を取り戻すのは並大抵ではありません。

私はこれからも国民に粘り強く訴え続けていきますし、それが私の使命だと思っていますが、最後にもう一度「普通に生きた方が良いですよ」と忠告いたします。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>